

公益社団法人私立大学情報教育協会  
2023 年度第 1 回電子著作物等利用推進委員会議事概要

I. 日 時：令和 6 年 3 月 19 日（火）14：00～16：00

場 所：Zoom 会議室

II. 参加者：角田担当理事、中村委員長、蓬田委員、堀部アドバイザー、渡辺アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本

III. 検討事項

1. 大学教員を著作権者とする補償金分配に向けての提案について

授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)に分配に関する提案を整理した資料と、日本音楽著作権協会(JASRAC)のブロックチェーン技術活用についてのメモが提示され確認した。

- ・ 著作権者の一元管理を導入することについて、透明性のあるデータベースと、大学にデータを出してもらう要請が必要となる。
- ・ ブロックチェーン技術を用いたシステムの導入について、JASRAC の KENDRI システムで音源管理の取組みを始めており、ブロックチェーン技術導入での著作権者一元管理の検討を前向きに進めることを期待する。
- ・ 大学をはじめとする教育機関団体の設立支援について、既存の分配業務受託団体経由で教員への分配が始まっているが、どのように分配されているか分からないのが現状で、早期に大学等教員への分配団体を設立支援することを要請する。
- ・ 権利の範囲として、ネットのみに掲載されているコンテンツや学会の取り扱いなど、既存の受託団体から漏れているものが考えられるが、大学教員を著作権者とする提案の大枠範囲で提示することを確認した。
- ・ 本協会としては、SARTRAS がブロックチェーン技術の活用を検討する場合に JASRAC は受託団体であり調整可能なことから、この分配に向けての提案をもって、それ以上の対応には踏み込まないことを確認した。

2. 個人情報保護法対応アンケートについて

個人情報の保護に関する法律が成立した後に改正され、私立大学への多大な影響があることから、大学が個人情報保護法にどのように対応されているか、各大学での自己点検のため、提出された案をもとにアンケートを行うことにした。

- ・ アンケートは、回答の整理を行う際に大学名の提示は考えていないが、大学種別で判断した方が良さそうなケースも考慮して、大学名の入力も行うことにした。
- ・ アンケートの項目は、基本的に原案通りで確認がされたが、アンケート回答欄の設定が不十分のため、修正を行った。
- ・ 委員会組織での議論についての問いは、議題の記述欄を追加した。
- ・ 担当部署の有無についての問いは、担当者の記述は削除した。
- ・ 教員への情報提供についての問いは、個人情報保護の取扱いを教員に周知しているかに修正した。
- ・ 安全管理措置についての問いは、回答が長文になる可能性があり、簡単にとの言葉を添えた。
- ・ 特別な措置についての問いは、措置や対応を講じている記述にした。